15 ■市街地を望む夏鳥の繁殖地

秋葉山（新津市）

■環　境：公園　山地
■対　象：家族
■期　間：5月上旬～7月下旬

平野を見下ろす新津丘陵につくられた公園である。公園内には散策コースがあり、一周するとオオルリなどの夏鳥に会える。

〈さえずりのころ、新緑から夏〉

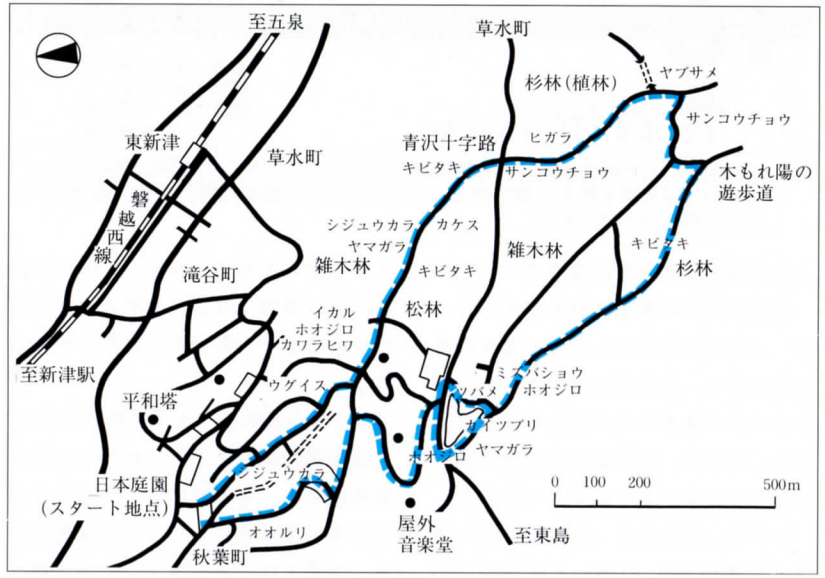
市民が親しんでいる遊歩道を巡ってみよう。噴水広場わきの駐車場に車を止め、このすぐ上の日本庭園を出発点にする。日本庭園では**スズメ**、**カラ**類など常連が迎えてくれる。鹿苑を通り石段を登ると、アカマツ、サクラ、ヤマモミジなどの林があり、**カラ**類に**エナガ**、**コゲラ**等これからのコースでもよく出会える鳥たちがいる。さらに進むと杉林に入る。**ウグイス**、**ヤブサメ**、左手の沢から**オオルリ**が歌っている。その先に水道タンクがあり、左手の開けた地形から**ホオジロ**の「一筆敬上」が聞こえる。右手の観察舎から給餌台と水場が見える。静かにしていれば、水浴びが間近に観察できることも。先の坂道を下ると雑木林があり、**キビタキ**のテンポのよいさえずりを耳にする。

〈サンコウチョウに会える杉林〉

さえずりの合唱を楽しみながら坂道を下り、青沢十字路を過ぎると左側に杉林が続く。遠く、また近くに「ホイ、ホイ、ホイ」が耳に心地よい、**サンコウチョウ**だ。運がよければ長い尾をヒラ、ヒラ揺らして飛んでいる姿を目にすることができるだろう。この辺で手掘りの油井を見物するのもよいが、足元に要注意。

右手の坂道を登ると熊沢公園である。東屋に腰を下ろしてじっくり聞くのもよい。今までに出た鳥たちのおさらいができる。ここでも**サンコウチョウ**が聞こえ、**アオバト**の笛を耳にするかもしれない。この先の急な階段を降りると、また杉林だ。山道が右に折れると**オオルリ**の声が後に聞こえる。民家を過ぎると秋葉湖だ。護岸が整備され釣り人が集まるようになり、野鳥にとって環境が悪くなった。それでも釣り人がいない時には、**カイツブリ**や**カワセミ**を見ることができる。ここから広い舗装道路を一山越えて噴水広場に戻る。（約3㎞、所要2時間）

秋葉湖畔



〈秋から冬へ〉

カラ類の混群はもちろん、**ツグミ**、**シロハラ**に**イスカ**、まれに**キクイタダキ**がアカマツのこずえに見られる。また**ウソ**が桜の新芽をついばんでいる姿を見ることもある。

〈渡りのころ〉

アオジの歌、**カシラダカ**のぐぜり、**マヒワ**の「チュイーン」と響く声、**コルリ**、**エゾムシクイ**、運がよいと、**ノゴマ**の歌う姿を見ることがある。

（熊倉了一）

メモ

交通　ＪＲ新津駅から市街地を通り徒歩20分／ＪＲ磐越西線東新津駅下車、徒歩10分。
Ⓟ　公園入り口噴水広場わきと日本庭園前
探鳥会　県、市の実施探鳥会5月中旬
問い合わせ先：新津保健所
☎0250-22-5171
新津市役所
☎0250-24-2111
随時新津野鳥の会実施。
問い合わせ先：渡辺会長0250-24-0250
石油の里、中野邸のカエデも見物。